



朝風

上田市立塩田中学校

No.14

〈めざす人間像〉ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間

令和7年度 塩田中学校 3学期終業式

校長講話内容より抜粋

今日、塩田中学校は3学期を終え、いよいよ明日は卒業証書授与式です。先日の生徒総会や3年生を送る会は本当に素晴らしかったです。1、2年生が3年生への「今までありがとうございました 感謝の気持ちを込めて先輩たちの旅立ちをお祝いしたい」そんな気持ちの伝わる温かなものでした。そして、その姿を見て、3年生から1、2年生へと見事に塩田中学校がバトンタッチできていくと確信をしました。団結力があり、優しくて愉快的な3年生とのお別れが近付いていることに少し寂しさも感じますが、明日は「塩田中学校最大の行事」一人ひとりが心を込めて歌で気持ちを届けましょう。一つひとつの礼や動作で感謝の気持ちを表しましょう。そして、みんなで3年生の旅立ちをお祝いする1日にしましょう。

さて、今日は本年度最後の校長講話となります。最後に「ならぬものは ならぬ」の話で締めくくりたいと思います。「ならぬものは ならぬ」とはどういう意味でしょうか？

「ダメなことはダメなんだ やっちゃダメ」そういう意味です。

学校生活の中では日々いろいろな問題が起きます。それは授業に集中していなくて騒がしかったり、部活などでのケガであったり、友だち同士のケンカやいざこざであったりと、それは様々です。みんなが集まっているいろいろな活動をしているのですから、それは当然です。ですが、例えそうであっても、やはり「ならぬことは ならぬ」「ダメなものは ダメ」です。その中で校長先生が絶対許せないことは「いじめ」です。「いじめ」は絶対にダメです。いじめる人はよく「Aさんが嫌い」「Bさんとは気が合わない」「Cさんを見るとむかつく」「やられたから、やり返した・・・」みたいなことを平気で言います。すべては「相手が悪い」を前提として、責任を丸投げしています。「矛先が自分に向かない」、「上手くいかないのは自分にも原因がある」とは思えず、自分勝手にそう言ってしまう。でも、自分の感情や感覚を相手の気持ちに重ねて考えられたり、自分はどうかと反省しながら振り返ることができたら、

「嫌い」 は 「私はあなたが苦手」 ということになり

「気が合わない」 は 「私と考え方が違っている」 だけであり

「むかつく」 は 「私が自分の気持ちをコントロールできない」 とも考えられるし

「やられたから やり返した」 は 「私がやられるようなことをしてしまったのかも…」となります。

相手の立場になって考えると、自分の対応や自分の行動が、言葉が変わっていきます。それができるのが大人であり、中学生なんだと校長先生は思います。そして相手を思いやり、相手の個性を理解して、新しい人間関係を構築できるようになってください。自分と違うのは当然。みんながそれぞれ違うから、面白い。勉強になる。きっと君たちにはそれが理解できると確信しています。

春休みです。それぞれの学年のやるべきことは違うかもしれませんが、「新しい春のために備える」ことは同じです。誰もが4月、夢と希望に満ちた新年度のスタートになることを願います。

3月13日（金）に行われた「3年生を送る会」の様子です
どの企画も3年生への感謝の気持ちであふれていました
3年生の皆さんはいよいよ自分だけの「正解」探しの旅が始まります 「よ～い はじめ！」



3学年合唱「正解」



・・・自分で選んだ道が正しいのかどうかはまだ分かりません。けれど大切なのは、正解を選ぶことではなく、選んだ道を自分の力で正解にしていくことではないかと私は考えています。・・・

3学期終業式 3学年生徒代表挨拶 一部抜粋